

報道各位

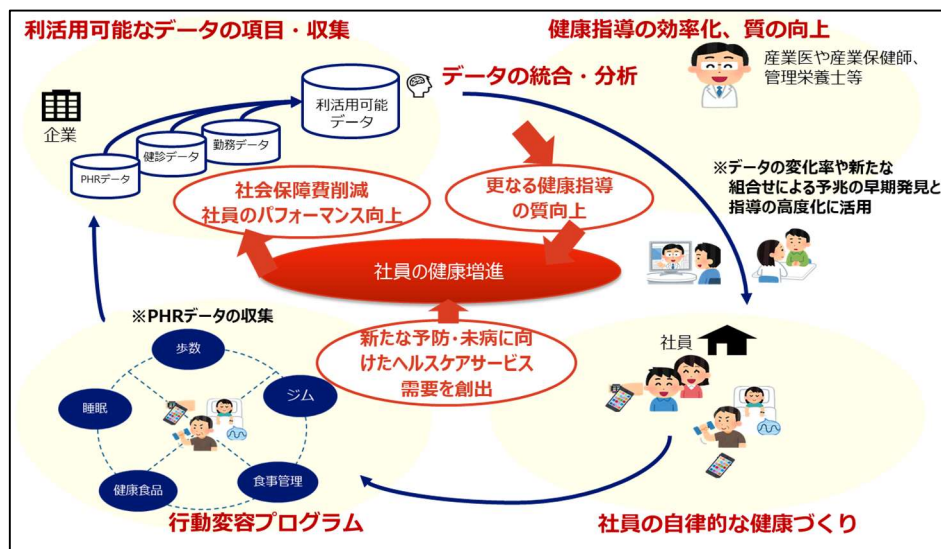
## Well-being societyの実現に向けた データ利活用による健康経営の実践

健康長寿産業連合会（会長：澤田 純）は、この度、『Well-being societyの実現に向けたデータ利活用による健康経営の実践』を発表しましたのでご報告します。

### 実践におけるポイント

- 健康長寿産業連合会 健康関連データの活用推進ワーキンググループでは、Well-being societyの実現に向け、**社員の健康増進・パフォーマンス向上を図ることを目的に、まずは連合会会員14社(2022年5月13日時点)が率先して『Well-being societyの実現に向けたデータ利活用による健康経営の実践』を行ってまいります。**
- 具体的には、企業が保有している勤務・健診データに加え、日々のライフログ等 PHR データを収集し、統合・分析することで社員の健康状態を把握するとともに、産業医等と連携して**社員自らの自律的な行動変容を促す仕組みを構築する等、社員の健康増進をより一層図っていく取組を実践します。**
- これにより、**企業による社員の健康増進に向けたムーブメントにつながることを期待するとともに、PHR (Personal Health Record) 等のデータ活用型ヘルスケア事業の活性化を図って参ります。**

### データを活用した社員の健康増進の取り組み



詳細は、健康長寿産業連合会ホームページをご確認ください。

<問い合わせ先>

健康長寿産業連合会 健康関連データの活用推進ワーキンググループ (WG2) 事務局  
Email: kenkochoju-wg2@nttdata-strategy.com